

発行責任者：上尾同志会（上尾市本町3-1-1 議会内）

TOPIC
解説!!令和3年度決算の審査
令和5年度に向けて!!同志会提言集
各議員の取組と今後の動き

田島じゅん

新道りゅういち

尾花あきひと

渡辺こういち

田中かずたか

原田よしあき

小池ゆうや

R4年 秋の議会では、市から提出された「R3年度の決算」を審査しました（※）。構造全体としては、コロナ禍による減収予測が市の見込み程にならなかった事や、国からの交付税等が年度中に増加した結果、市がサービスを縮小して実施した歳出とズレが生じ、過去最大規模の余剰金が発生する結果に。また、補助金の支給方法で市が示した基準が府内で徹底されず不適正な運用が判明したため、R3年度決算は議員全員の反対により「不認定」となりました。同志会は、再発防止を求めるとともに、この本質的原因でもある役所の部局間連携の強化と、中長期的視野での財源運用方針の明確化、将来に向けた適切な投資等、審査をふまえた提言を市に提出しました。

※議会は毎年秋に、前会計年度（1年前の4月～今年3月）の市役所の全業務の決算を審査します。予算に沿った適正な仕事が行われたかチェックし、新年度の予算編成への提言を行います。



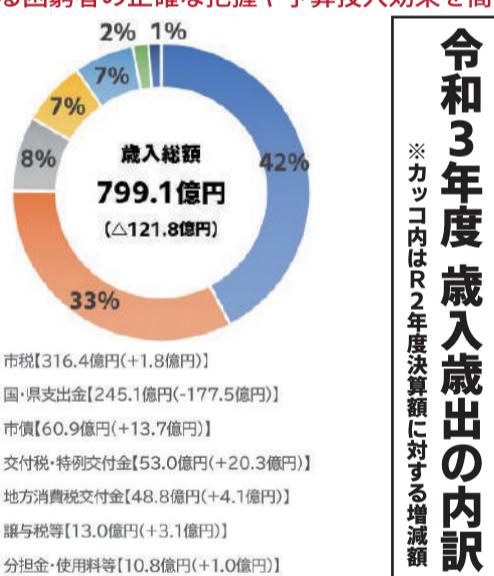
上尾同志会のR5に向けた
提言一覧はこちら



解説!! 令和3年度決算の審査

決算概要と不認定理由

コロナ禍で歳入予測を厳しく見積もった判断自体は危機管理の面から理解はできますが、コロナとなって2年目にも関わらず歳入見込みのズレが更に大きくなかった点や、今回判明した市が「補助金は一律10%カット」と方針を出しながら基準違反の不適切な支出を行っていた点は問題が大きく、我々は公平公正の観点のみならず、税の使い方でモラル崩壊に繋がらないための予防策として決算を「不認定」としました。ただでさえ市財政は必要事業に対して独自財源が不足する状況が続いている。「無駄な支出の削減」と「どの程度市の独自サービスを展開するか」はバランスの問題で、市政運営の永遠のテーマですが、緊縮方針が解除されたR4年度以降は、更にシビアに施策の実効性をチェックし、支援する困窮者の正確な把握や予算投入効果を高める提案を進めてまいります。



決算審査 同志会の視点

令和3年度決算から見えた、今後の市政運営におけるポイントをまとめました。

Point 1.

持続可能な財政運営のビジョンを

当会派で以前より指摘してきた「財政調整基金（緊急用に積み立てる自治体の『貯金』）」について、市自身が示す基準（標準財政規模の1割=約40億円）が確保されていない問題については、今回余剰金が大きく発生したこと、予想外の形でクリアされています。しかし、R4年度中に既にこの半分を取り崩しており、財政運営の持続性をどう担保するかは引き続いての課題です。更に、公共施設の修繕積立金は、「前年度の減価償却額の1割」というガイドラインが守られていない等、長期的視点での財政運営や、基金積み立て方針があいまいなものについて早期提示を要望しました。財源確保についても、ネーミングライツ等の収入増加策拡充のほか、土地使用転換の促進や企業誘致等、将来歳入として還元が期待できる投資的政策が停滞している点を強く訴えています。

Point 2.

基金の積立・使用計画は？市民に適切に還元されるか

発生した余剰金は、様々な「基金」という形でストックされています。地球温暖化対策基金や一般廃棄物処理施設建設等基金、森林環境譲与税調整基金等については、R3年度の影響を受けて積み立てが出来てきた状況です。一方、これらの基金は「いつ」「どのように」使われるのか用途が不明確なものが多く、積み立てや今後の活用計画の策定が必要であると指摘しました。

Point 3.

低執行率の事業を精査、投資するなら効果の最大化を

歳出を事業ごとに見ると年度当初の予定に比べ執行額が低い傾向でした。要因はR2年度同様にコロナ影響によるイベント中止等が多かった事が主ですが、R3年度が臨時財政運営方針だったこともあり、投資系事業については効果が今一つあがらなかったものも散見されました。例えば農業従事者の後継者育成に関しては、実効性の高い施策が打てていないことについて、当会派委員より指摘し、改善の必要性を訴えました。

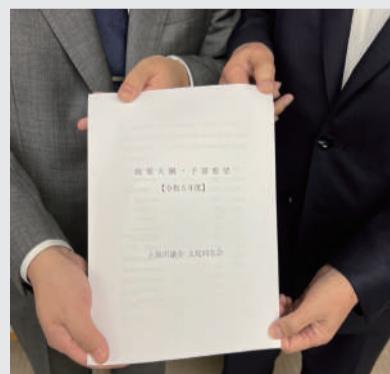


令和5年度に向けた 同志会90の提言

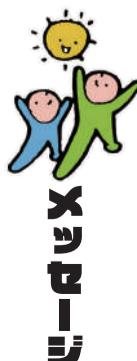
令和4年10月7日、令和5年度に向け90項目に渡り市長に提言書を提出しました。
(以下、一部のみ掲載。原文は右記二次元コードよりご確認いただけます。)



上尾同志会
政策大綱・提言書



(財源確保)①公共施設命名権の対象拡大と民間連携の推進 (防災)②SNS災害発生サポーターの導入、災害メルマガ登録促進 ③駅に熱中症対策のミストシャワーを設置する事 (子育て)④所得制限を超える世帯への児童手当給付等、支線の強化 ⑤駅周辺の市有地を保育複合施設として活用する事 ⑥市外就労人口の多い本市の特性をふまえ 駅前からの送迎保育事業を導入する事 ⑦検診助成金の増額等による妊産婦支援強化 (市民生活)⑧段ボール・ペットボトルゴミの月あたり収集日数を増加する事 (都市整備)⑨運動公園再整備にあたっては、施設整備効果が地元に十分還元される内容で実施するよう県に強く要望する事 ⑩新環境センター整備にあたり効果を最大化すべく、部局横断的かつ伊奈町と十分意見交換し、土地利用の柔軟な見直しを図る事 ⑪上尾道路沿線の土地利用促進を図る事 (教育)⑫学校施設更新計画について、早期に提示ができるよう計画策定に努める事 (健康福祉) 感染症対策に向け、医師会の意向をふまえた協力体制を強化する事 ⑬職員の民間等用等幅広い人材確保を図る事 ⑭デジタル人材について専門家採用を含め育成に努める事 他



10/3より開会した臨時国会では、物価高への迅速な対応と経済再生、多層的な外交と防衛力強化、新型コロナ感染症に対する施策等、活発に議論されています。私は国土交通委員会筆頭理事と予算委員会委員、また党広報本部副本部長とITS推進・道路調査会幹事長として、上尾道路・新大宮上尾道路（首都高の延伸）等の地域インフラ整備と早期供用を推進するとともに、荒川の堤防整備や原市沼川の治水対策、電線地中化等を中心に、各市議を通して頂いた皆様のお声を国政に反映させるべく取り組んで参ります。



「県政」の役割が、コロナ禍をはじめ時代の変化で重要度を増しています。市町は身近な施策、国は社会保障や防衛外交の役割が増していく中、その両者の情報と大規模予算を持つ「県」こそ、特定地域への投資で新たな夢や理念を生み出せる存在となっています。一方、ここ上尾・伊奈は現在、県内でも珍しい自民党県議不在区で、現実問題として施策に遅れが生じています。県に届いていない現場の声を掴み、市町議会と連携し、地域に具体的な変化を生むべく取り組んで参りますので、お声を是非お届けください。



しんじゅう りゅういち
新道 龍一

上尾同志会 幹事長／議会運営副委員長
文教経済常任委員会／議会改革委員会

783-
4625

取組 ◎子育て支援について まだまだ本市の保育需要が高まっているなかで、受け皿となる私立保育園等誘致を更に推進するよう市に要望。給食費の段階的無償化を要望。◎持続可能な行政経営についてネーミングライツ事業の推進。ネーミングライツ事業とは、スポーツ施設などの名前に企業名や社名ブランドを付けることであり、公共施設の命名権を企業が買うビジネスです。実例として「上尾市民球場」が「UDトラックス上尾スタジアム」に生まれ変わりました。契約内容は、3年契約の年間300万円、3年間で900万円が上尾市の新たな自主財源となり、球場の維持費に充てられます。その結果、毎年支出していた維持費が削減され、需要が多く不足額が生じている既存事業や新規事業にその予算を充てることができます。

今後 高齢者の新たな移動手段としてデマンド交通の導入。通学路の安全対策を推進。シティセールスで生産年齢人口の転入を促進。国土強靭化計画に基づく無堤防区間の早期整備を国・県と推進。



おばな あきひと
尾花 瑛仁

議会改革特別委員長／R4年度 予算特別委員長
議会運営委員会／都市整備消防常任委員会

773-
7033

取組 【埼玉県】◎県政に上尾伊奈の声を届け市町単独では実現困難だった課題に取り組みます。◎県道の渋滞解消 ◎県立運動（水上）公園の再整備 ◎高崎線を跨ぐ東西道 第二産業道路 伊奈中央線等整備促進 ◎上尾道路と新環境センター周辺の土地活用 ◎平方水害対策 荒川 江川 鴨川 芝川 原市沼川等 治水対策 ◎浸水予測区域の避難経路整備 ◎ニューシャトル利便性向上 ◎医療 警察 教育行政の推進 ◎県と市町議会の連携強化 ◎主権者教育 【上尾市】◎秋の決算に先立ち昨年度余剰金を可視化 ◎「議員同士が討議する」制度を試験導入 ◎市防災訓練に企業の参加を実現 ◎園児を駆け各園にバス送迎する制度を提案 ◎職員昇任時の筆記試験導入を提案 ◎「旧統一教会と政界の癒着の解明と被害者救済を求める意見書」に署名 可決

今後 時代を先読みした上尾伊奈の土地活用を提言します。政治に対する現場の声を強く中央政界に訴えます。中立性を担保した主権者教育を通じ、一人ひとりが未来を選択する環境強化に励みます。



わたなべ こういち
渡辺 紹一

上尾市議会 議長
都市整備消防常任委員会

723-
3938

取組 ◎議長に就任し、職責の重さを痛感しつつ、身の引き締め、職務に邁進しております。コロナ禍は続いておりますが、減少傾向もみられ、感染拡大防止対策を行いながら、市や地域のコミュニティ活動も徐々に再開され、公務でご訪問する機会も増えてまいりました。新型コロナに加え、インフルエンザの流行も懸念されますが、市民の皆様には健康にご留意頂きつつも、市民生活を守るべく、議会としてもしっかりと取り組んでまいります。これからも、市民の皆さまに開かれた議会を目指し、市議会に対する理解や関心をより深めていただくよう努め、公正かつ円滑な議会運営に最善の努力を尽くしてまいります。◎一議員と致しましても、日々、皆様のお声をお聞きし、市民生活の向上、市政発展に努めてまいります。

今後 上尾伊奈広域ごみ処理施設設計画の推進、並びに周辺インフラの整備。原市沼調整池の整備。瓦葺地区の土地活用。文化財の保全・活用。空家対策。消防行政全般の強化等。



たじま じゅん
田島 純

708-
6339

議会報編集委員長／文教経済常任副委員長

取組 ◎上尾市の行政窓口サービスが日本一になるためにはどのようなことに取り組むべきか（埼玉県内全63自治体の窓口サービス調査を実施！）、成年年齢18歳引下げ（民法改正2022年4月1日より施行）に伴う課題や行政での啓発活動の促進、本業を持ちながら消防・防災活動に従事している消防団員の待遇改善等「市民目線に立った」市政に対する一般質問を今後も取り上げて参ります。◎自治会役員として行事の企画や実施に参画、地域防犯パトロール隊・地域支え合いの会活動を通しての地域見守り活動、自治会子ども会役員・大石子ども会役員活動を通じた地域賑わいの創出、自警消防団員、鴨川水辺サポートーの会等皆さんと共に行動し、声を直接聞きながら、地域の活動や問題解決に取り組んで参ります。

今後 地元自治会と情報交換・連携を密にして諸課題の解決（「寺東公園」計画、必要な横断歩道の設置要望等）、埼玉県内では少数の2色刷り市議会「議会だより」のフルカラー化実現を目指します。



**上尾
同志会**

市民相談は各議員へ
お気軽に寄せ下さい



こいけ ゆうや
小池 佑弥

671-
7789

上尾同志会 広報担当
総務常任委員会／議会報編集委員会

取組 ◎R3年度決算を受け、各種基金の活用効果を最大化するための計画策定を提言 ◎YouTubeを活用した財源確保策（YouTubeパートナープログラムの導入）を提案・実現 ◎今後のIT社会に順応した競争力のある人材を育成するための「体験」を通じた学び（STEAM教育）を推進 ◎愛宕交差点の内水氾濫による水撥ね防止を推進、また豪雨対策として空き家・学校周辺の側溝管渠の優先点検を要望 ◎災害時におけるICT活用を推進し、小型無人航空機（ドローン）の有効活用策や、情報収集機能としてAIチャットボット及びSNS災害情報センター制度の活用を提案 ◎ウクライナの子供や高齢者等、幅広い避難民へ対応できる体制の整備と合わせて、避難民を受け入れた方へのサポートの充実を要望

今後 現在の市財政状況を的確に捉え、「財源拡大」に繋がる施策提言を継続します。また、次世代教育・行政ICT化・GX等、今のまちづくりのトレンドを抑え、未来に向けた投資的政策を推進します。



はらだ よしあき
原田 嘉明

725-2575

上尾同志会 政務調査担当／R4年度 決算特別副委員長
健康福祉常任委員会／議会改革特別委員会

取組 ◎領家地区通学路の道路拡幅の地権者説明会も実施され、9月定例会の補正予算で計上され承認。地域・担当部局と連携し進展 ※地権者の皆様には、何卒ご理解ご協力ををお願い申し上げます。◎上尾駅西口付近の歩道整備が完了、歩行者・自転車の安全性が向上 ◎荒川築堤の国土交通省埼玉県視察（平方・畔吉・領家）が実施され、その際に平方築堤早期完了、以北の早期事業化、江川のポンプ場設置を衆議院国土交通委員長、関東整備局長に進言 ◎高速埼玉中央道路の日照確保や防音対策等を大宮国道事務所に進言 ◎冠水深度の道路標示を提案 ◎市施設の赤ちゃんの駅の拡充、施設外部への表示、対応施設一覧の市HP掲載を提案し確約 ◎市道の10046号線（領家）・10272号線（小敷谷）道路改良を推進中

今後 ◎通学路の安全確保 ◎防犯・防災力強化・防災訓練の全市的かつ地域密着型の取り組み ◎道路改良と整備 ◎市施設の子育て支援設備の整備と充実、標準化 ◎地域連携、市や国とのパイプを生かし、積極的に取組みます。



たなか かずたか
田中 一崇

771-3228

上尾同志会 代表／総務常任委員長／学校施設更新計画調査特別副委員長
議会運営委員会



取組 ◎幼稚教育・小中学校等の子育て環境向上により、多世代が住み続けたい上尾市を創って参ります。◎西宮下中妻線の進捗、及び始点について質問・要望 ◎危険交差点について信号機設置要望（西宮下4丁目） ◎保育・教育機関のコロナ禍の影響を検証、必要物資の配給要請及び校則改訂・見直しの提案 ◎学校における小中学生の水泳活動について、新たな提案 ◎コロナ禍支援について物品支援など新たな展開を要望 ◎15歳以下インフル予防接種無償化の推進 ◎子育て世代定住促進強化 ◎遅滞なく納税者に平均的還元策の検討・推進 ◎幼保の人材確保支援

今後 限られた財政の中で、持続可能な上尾市発展のため市民の皆様に費用対効果の高い施策の提案を行い、上尾市発展に努めてまいります。また、地元エリアの諸問題解決、景観維持、子育て支援強化を目指します。



旧統一教会問題への見解！「政界との癒着の徹底解明と被害者救済を求める意見書」を可決！

国に対する意見書が提出され、当会派所属の尾花瑛仁議員による署名のもと、議会として可決しました。①「政治家との癒着や靈感商法被害の実態等を調査し、国会で明らかにする事」②「靈感商法被害者と教会会員・会員2世世代の相談窓口設置、現行法制度を最大限活用し、専門家や団体と連携し被害者救済を行うこと」を国と政府に強く要望しています。総理は「教会と関係をもたぬよう自民党は地方議員も対応を徹底する」と述べ、被害者救済

法成立に向け他党と合意しましたが、眞に保守政治家であれば国益に反する「反日思想を教義に持つ団体」と関係を断つべきなのは当然の話です。我々は「司法の場で教会の布教活動が『違法』と認定された事実」等を示し、市としても毅然とした対応と国の相談窓口への案内充実を要望しました。引き続き靈感商法被害の防止と被害者救済に向けて提言し、政治との癒着を断固として許容せず、信頼される政治に向けて地域から可能な施策に取り組んでまいります。